

Tea time

●品詞に気をつけて単語を暗記しよう

英語の勉強で一番つらいのが、英単語・熟語の暗記です。暗記が得意な人なんていません。だからこそ、いろいろと工夫して暗記するようにならなければなりません。

脳を刺激すればするほど強い印象が残るので、英単語・熟語を忘れにくくなります。ですから、英単語を暗記するときには、できるだけ声に出したり、手を動かして書いてみたりしましょう。

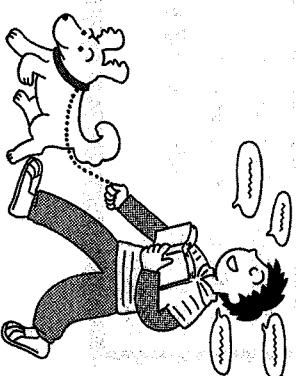
また、暗記は時間よりも集中力が大切なので、机に座って堅苦しく長々とやるよりも、電車の中の15分間や量の上でコロコロしているときの方が単語をたくさん暗記できたりするものです。暗記に関しては、形式よりも能率を重視しましょう。

また、単語を暗記するときには、品詞に気をつけるように心がけましょう。例えばこの問題を見てくださいますか。

(Despite / Although) it was raining, he went out.
雨にもかかわらず、彼は外出した。

答えは Although です。「にもかかわらず」という日本語につられて、Despite を選んだ人も多いと思います。でも、despite は直後に名詞をとる前置詞なのです。ここでは it was raining という、動詞が後ろにきていますね。だから、接続詞の Although が正解なのです。

英文法問題で点数をとるためには、ただ日本語の意味を詰め込み暗記するだけでなく、例文の中で品詞に注意して単語を記憶することが重要なのです。



Stage

2

4 動名詞
5 分詞
6 分詞構文

動名詞

動名詞とは、動詞をing形にして名詞の働きをさせる用法のことなんだ。もちろん名詞の働きをするわけだから、主語、目的語、補語、前置詞の後ろ、などに使うことができるぞ。

1 to Ving の熟語

☑ I can't get used to () in the big city.

- ① live ② lived ③ living ④ be living

[北海道大 (経)]

to という単語につられて不定詞だと思い込んでしまい、動詞の原形の① live を選ばないように注意しよう。この get used to Ving (V するのに慣れる) という熟語では、to は不定詞の to ではなく前置詞なので、直後には名詞の働きをする動名詞、つまり③ living がこなければならぬ。動名詞の問題でも、このような熟語は最頻出なので覚えておこう。

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| ☑ get be used to Ving | [V するのになれる [慣れている]] |
| ☑ get be accustomed to Ving | [V するのになれる [慣れている]] |
| ☑ look forward to Ving | [V するのを楽しみに待つ] |
| ☑ object to Ving | [V することには反対する] |
| ☑ What do you say to Ving? | [V しませんか] |
| ☑ when it comes to Ving | [V することになると] |
| ☑ with a view to Ving | [V する目的で] |

解答 ③ 私は大都市に住むのに慣れることができない。

2 動名詞のみを目的語にとる動詞

☑ Have you finished () a letter to your friend?

- ① of writing ② to write ③ writing ④ write

[名古屋学院大 (経済・外国語)]

動名詞も不定詞も名詞の働きをするので、どちらも目的語になることができるけれど、動詞によって不定詞または動名詞だけを目的語にとったり、両方とも目的語にとれたり、さまざまな制約があるんだ。

finish は動名詞のみを目的語にとる動詞なので、答えは③ writing となる。ここでは、動名詞のみを目的語にとる動詞をまとめて覚えておこう。これは「メガフェイスダッパム」という頭文字で覚えておくと覚えやすいぞ。

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ☑ M mind Ving | [V することを気にする] |
| ☑ E enjoy Ving | [V することを楽しむ] |
| ☑ G give up Ving | [V することをあきらめる] |
| ☑ A avoid Ving | [V すること避ける] |
| ☑ F finish Ving | [V し終える] |
| ☑ E escape Ving | [V すること逃げる] |
| ☑ P postpone put off Ving | [V すること延期する] |
| ☑ S stop Ving | [V することやめる] |
| ☑ D deny Ving | [V すること否定する] |
| ☑ A admit Ving | [V すること認める] |
| ☑ P practice Ving | [V すること練習をする] |
| ☑ A advise Ving | [V すること忠告する] |
| ☑ M miss Ving | [V しそこなう] |

解答 ③ 友達への手紙を書き終えましたか。

3 目的語が不定詞か動名詞かで意味の変わる動詞

❑ Don't forget () off the gas before you leave the house.

- ① turn ② to turn ③ to turning ④ turned

[英検準2級]

もともと、不定詞には未来的な意味合い、動名詞には過去の意味合いがあるんだ。ここでは「(未来に) ガスを消すのを忘れてはならない」というているので、未来的な意味合いを持った② to turn の不定詞を選ぼう。このように後ろに不定詞をとるか、動名詞をとるかで意味が変わってくる動詞のパターンもまとめて覚えておくと便利だ。

| | |
|------------------|--------------|
| ❑ forget to V | [Vし忘れる] |
| ❑ forget V-ing | [Vしたのを忘れる] |
| ❑ try to V | [Vしようとする] |
| ❑ try V-ing | [試してVしてみる] |
| ❑ remember to V | [忘れずにVする] |
| ❑ remember V-ing | [Vしたのを覚えている] |
| ❑ regret to V | [残念ながらVする] |
| ❑ regret V-ing | [Vしたのを後悔する] |

解答 ② 家を出る前にガスを消すのを忘れないでね。

Tea time

●英語の実用性

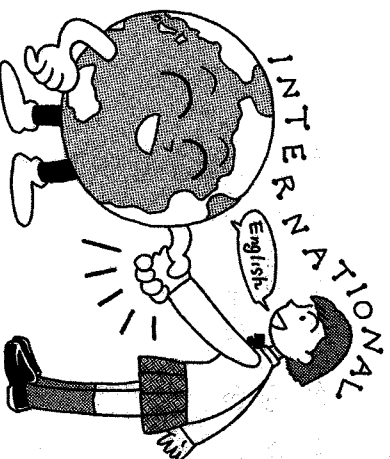
高校受験や大学受験にはいろんな科目がありますが、こと実用性となると英語にかなうものは、なかなかありません。英語の学習をじつかりとやっておけば、国際的商取引、海外での生活・旅行、映画や音楽などの趣味と直接結びつくのです。

受験や英検などのテストに追われると、つい忘れられてしまいそうになるのですが、我々が勉強している文法や単語や熟語は、世界の多くの国の人々が、ビジネスや日常生活で便利な道具としている国際言語なのです。

とりわけ日本は貿易によって生計を立てている国家ですから、英語を使いこなせる人が社会で必要とされるのは当然のことです。多くの企業が人材を採用する際には英語力を考慮するといわれています。

また、英語は世界のほとんどの国の教育機関で教えられているので、英語を習得することによって世界中の教養ある人々との会話が可能になります。だから、多くの興味深い人々に出会い、文化や人生を豊かにすることもできるのです。

このように英語を使いこなせることは、ただ受験勉強というわけではなく、国際社会に参加するための強力なパスポートとなるんですね。



- () に入るのに最も適当なものを選び

□ 1 A : This bag is so heavy. Would you mind () it upstairs for me ?

B : Not at all, Linda.

- ① carry ② to carry
③ being carried ④ carrying

[英検準2級]

□ 2 I always enjoy () to classical music when I have some free time.

- ① listening ② to listen
③ that I listen ④ in listening

[センター試験]

□ 3 There is a severe shortage of water in this city, so we must give up () a bath occasionally.

- ① take ② having ③ economize ④ out

[名古屋工大(後)]

□ 4 I usually avoid () to work during rush hours.

- ① travel ② to travel
③ traveling ④ traveled

[北海道文理科短大<改>]

□ 5 He narrowly escaped () run over.

- ① be ② being ③ to be ④ was

[中京大]

□ 6 The doctor told me () because of my health.

- ① not smoke ② not smoking
③ to stop smoking ④ to stop to smoke

[中部大(工・経営情報)]

□ 1 ④ A : この鞆はとても重い。私のためにこれを階上へ運んでくれませんか。 B : もちろんだとも、リソダ。

基礎 mind は「気にする」という意味で、後ろに動名詞をとる動詞。ここでは、**Would you mind Ving** という形で「Vするのはいいですか」、すなわち「Vしていただませんか」という口語表現。Not at all. という答え方にも注意しておこう。

□ 2 ① 私は暇なときはいつもクラシックの音楽を聴いて楽しんでいる。

enjoy は後ろに動名詞をとり、**enjoy Ving** で「Vするのを楽しむ」という意味になる。このように後ろに不定詞ではなく動名詞をとると決まっている動詞は、正確に暗記しておこう。

□ 3 ② この都市においては深刻な水不足があるので、私たちは時々風呂に入るのを断念しなければならない。

give up Ving は「Vするのをあきらめる」という意味で、不定詞ではなく必ず動名詞を使う表現だ。正解は動名詞の ② having。

□ 4 ③ 私は混雑時に出張するのをいつも避けている。

avoid という他動詞は、**avoid Ving (Vするのを避ける)** という形で、必ず後ろに不定詞ではなく動名詞をとる。ここでは、動名詞の ③ traveling が正解。

□ 5 ② 彼は危うく車にひかれるのをまぬかれた。

escape という他動詞は、後ろに不定詞ではなく必ず動名詞をとる。ただし、後ろの動名詞が受動態になることが普通で、**escape being Vpp** という形で使われることが多い。ここでは受動態の動名詞の being Vpp の形を作るために ② being を正解としよう。

□ 6 ③ 医者は、私に健康のためにたばこをやめるよう言った。

注意 tell ~ to V は「～にVするように言う」という構文で、ここではさらに stop という他動詞の語法も分かっているなければ正解できない。stop は、**stop Ving** のときには「Vするのをやめる」という意味になり、**stop to V** というときには「止まってVする」という意味になる。医者は禁煙を勧めるわけだから、③ to stop smoking が正解になるよね。

▽7 She admits () the ring.

- ① having taken ② of having taken
③ to have taken ④ for taking

[目白学園女子短大]

▽8 I regret () my time during the summer vacation.

- ① waste ② to waste
③ to have waste ④ having wasted

[東京家政大]

▽9 Have you ever tried () on the river?

- ① skate ② skating
③ to be skating ④ to have skated

[京都産業大 (理)]

▽10 She is always afraid of () mistakes.

- ① made ② make
③ making ④ to make

[京都産業大 (経・理・工)]

▽11 He doesn't like the idea of () part-time.

- ① my working ② for me to work
③ that I work ④ my work

[大妻短大]

▽12 My husband is an expert when it comes ()

- Chinese food.
① to cook ② to cooking
③ of cooking ④ for cooking

[東京電機大 (工・電気・機械工)]

▽7 ① 彼女はその指輪をとったのを認める。

【注意】 admit という他動詞は、後ろに必ず不定詞ではなく動名詞をとる。ここでは「指輪をとった」のは「認める」よりも前のことから、ただの動名詞ではなく時制が1つ前のことを表す完了動名詞、つまり having Vpp という形を使わなくてはならない。答えは ① having taken だ。

▽8 ④ 私は夏休み中、時間を無駄に過ごしてしまったことを悔んでいる。

regret という動詞は、後ろに不定詞がくるか動名詞がくるかで意味が変わるんだ。
regret to V だと「残念ながらVする」という意味になり、regret Ving、もしくは regret having Vpp という形では「Vしたことを後悔する」という意味になる。この場合、不定詞には未来的な意味合いがあり、動名詞には過去の意味合いがあることをヒントにしよう。

▽9 ② あなたは今までに川の上でスケートをやってみましたか。

try という他動詞は、後ろに不定詞がくるか動名詞がくるかで意味が変わる。
try to V は「Vしようとする」の意味になり、try Ving では「Vしてみる」という意味になるんだ。ここでは、スケートをやってみるわけだから、② skating が正解。

▽10 ③ 彼女はいつも間違いをおかすことを恐れている。

前置詞の後ろには、必ず名詞の働きをするものが続く。けれど、不定詞の名詞的用法は前置詞の後ろ、つまり前置詞の目的語としては使うことができないんだ。前置詞の目的語は動名詞を使わなければならないので、③ making が正解だ。

▽11 ① 彼は、私がアルバイトをするという考えが好きではありません。

【注意】 () は of という前置詞の目的語になっているから、動名詞の ① my working を選ぶ。my という所有格の代名詞は、動名詞の意味の上での主語を表しているんで、my working で「私が働くこと」という意味になる。

▽12 ② 私の夫は中華料理となると専門家だ。

【注意】 when it comes to Ving (Vすることとなれば) の to は前置詞だから、後ろには動名詞がくる。これは、注意すべき熟語だ。

□13 Johnny moved to Spain just a few months ago, so he isn't used () Spanish yet.

- ① speaking ② to speak
③ to speaking ④ to be spoken

[英検準2級]

□14 I am looking forward to () you again.

- ① see ② seeing
③ saw ④ have seen

[東海大 (文)]

□15 We don't feel like () on such a hot day.

- ① working ② to work
③ to be working ④ to have worked

[京都産業大 (理)]

□16 Is her advice really worth ()?

- ① taking ② listening ③ caring ④ talking

[四天王寺国際仏教大短大部]

□17 All participants made great efforts in the Atlanta Olympics. We cannot help () their efforts.

- ① admire ② admired
③ to admire ④ admiring

[英検準2級]

□18 Bob was seventeen but had no trouble () for twenty.

- ① pass ② passed
③ passing ④ to pass

[神田外語大 (英米)]

□13 ③ ジョニーはほんの2, 3ヶ月前にスペインに引っ越してきたので、まだスペイン語を話すのに慣れていない。

be used to Ving は「Vするのになれている」という意味の重要表現だ。to が前置詞で、後ろの Ving は動名詞であることに注意しよう。また、**used to V** (かつてVしたものだ) や、**be used to V** (Vするために使われる) といった紛らわしい表現にも注意すること。

□14 ② もう一度あなたにお会いできるのを楽しみにしています。

look forward to Ving は「Vするのを楽しみに待つ」という意味で、to の後ろに動名詞がきているのが特徴的な熟語だ。ここでは、不定詞と勘違いして ① see を選ばないように注意しよう。

□15 ① こんなに暑い日に私たちは働きたくはない。

feel like Ving は「Vしたい気持ち、Vしたい気がする」という、動名詞を使った慣用表現だ。

□16 ① 彼女の助言は本当に聞く価値がありますか。

be worth Ving は「Vする価値がある」という意味の構文。この構文では、Ving の後ろに主語を持っていても文が続くような、不完全な形で文が終わっているのは ① taking だけ。ちなみに、② ③ ④だと、主語を続けるには前置詞が必要となるよね。

□17 ④ 全ての参加者はアトランタオリンピックで非常に努力した。私たちは彼らの努力を賞賛せざるを得ない。

cannot help Ving は「Vせざるを得ない」という意味の慣用表現で、これは **cannot but V** や **cannot help but V** の形にも書き換えることができるぞ。

□18 ③ ボブは17歳だったが、20歳ということにしても何ら問題はなかった。

have trouble (in) Ving は「Vするのに苦労する」という意味で、in を省略できることに注意しておこう。これは **have difficulty (in) Ving** に書き換えることもできるぞ。

☑19 I'm busy () for the next exam.

- ① to prepare ② about preparing
③ preparing ④ prepared

[流通科学大 (情報)]

☑20 There is () what will happen tomorrow.

- ① not telling ② not to tell
③ no telling ④ no tell

[英検2級]

☑21 "You certainly look happy." "I am. () for new

clothes is fun."

- ① Shopped ② Shop
③ Shopping ④ Being shopped

[流通科学大 (商)]

●次の2つの英文が同じ意味になるように () に適語を入れよ

☑22 1 : The house needs to be painted.

2 : The house wants ().

[東洋女子短大]

●次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ

☑23 ① Have you finished ② to clean your room ③ upstairs

④ yet ?

[桜美林短大]

☑24 ① Ever since I came back from ② ski last week, I've been busy ③ working ④ on my new project.

[桜美林短大]

☑19 ③ 私は次の試験の準備に忙しい。

基礎 be busy (in) Ving は「Vするの忙しい」という意味の熟語で、in を省略できることに注意しよう。

☑20 ③ 明日起こることを言うことはできない。

there is no Ving という表現は、「Vすることはできない」という意味の熟語表現で、it is impossible to V とも書き換えられる。There is no accounting for tastes. 「饕餮う虫も好きずき」ということわざも類出。

☑21 ③ 「本当にあなたは幸せそうにみえるよ。」「そうだよ。新しい洋服を買いに行くのは楽しいんだ。」

ここでは、主語の部分が () で、主語には名詞がなければならぬよね。「買い物をする」という動詞を名詞の位置に置くとすれば、動名詞を使うのが適切だ。ここでは③ Shopping が正解になる。

☑22 painting その家はペンキを塗られる必要がある。

need や want という動詞の後ろに Ving がくると、Ving が受動的な意味で使われる。ここでは、painting を補充すれば文が完成する。これらの形は、need to be Vpp (Vされる必要がある) と書き換えられることも覚えておこう。

☑23 ② to clean — cleaning あなたはもう上の階のあなたの部屋を掃除し終えましたか。

finish は、後ろに必ず動名詞をとる他動詞なので、ここでは to clean を cleaning に訂正しよう。

☑24 ② ski — skiing 先週スキーから帰ってきて以来、私は新しい企画の仕事で忙しい。

注意 日本語では、「スキー」を名詞として使うけれども、英語では名詞で「スキー」というスポーツ名を示すときには、skiing というふうに必ず ing 形にしなければならぬ。ここでは、② ski を skiing に訂正しよう。

- ☑25 It ① was clear ② that Mr. Williams was ③ at least worth ④ to meet.

[明海大 (経)]

●次の日本語の意味を表す英文になるように、() 内の語を並べかえよ

- ☑26 私はロッキー山脈でスキーを楽しむためにカナダを訪れようと思っている。
I am (1. of 2. visiting 3. skiing 4. to 5. Canada
6. enjoy 7. thinking) in the Rockies.

[桜美林短大<改>]

- ☑27 あの湖を見ると、君は必ずその美しさに心を打たれます。
You (1. impressed 2. never 3. see 4. being 5. without
6. the lake) by its beauty.

[京都学園大]

- ☑28 医者は彼に夜更かしを控えるよう忠告した。
The doctor advised (1. from 2. him 3. keep 4. sitting
5. to 6. up) late at night.

[梅蔭女子短大]

- ☑29 給料が安いため、彼は彼女と結婚できない。
☑ (1. prevents 2. salary 3. from 4. him 5. low
6. marrying her 7. his).

[梅花女子大 (英米文)]

- ☑30 そのことで田中氏と議論しても無駄だ。
(1. is 2. use 3. Mr. Tanaka 4. it 5. arguing with
6. no 7. about it).

[梅花女子大 (英米文)]

- ☑25 ④ to meet — meeting ウィリアム氏は少なくとも会う価値のある人だ
ということとは明らかだった。

基礎1 worth は、後ろに動名詞や名詞が続く特殊な形容詞なんだ。be worth
Ving (Vする価値がある) という形で覚えておこう。

- ☑26 7-1-2-5-4-6-3 I am thinking of visiting Canada to enjoy skiing
in the Rockies.

thinking of の of という前置詞の目的語には、動名詞の visiting を置いてみよう。
また、enjoy という他動詞は不定詞ではなく動名詞を目的語にとるので、skiing
という動名詞を enjoy に続けてみよう。

- ☑27 2-3-6-5-4-1 You never see the lake without being impressed
by its beauty.

never V1 without V2ing は「V1すれば必ずV2する」という意味の、動名詞
を使った重要表現。without という前置詞の後ろには、being Vpp の形の受動態
の動名詞がきでいることに、特に注意してほしい。

- ☑28 2-5-3-1-4-6 The doctor advised him to keep from sitting up late
at night.

advise ~ to V は「～にVするように忠告する」という意味。そして、その後ろ
の keep from Ving は「Vするのを控える」という意味の熟語だ。もちろん、
from という前置詞の後ろの Ving は動名詞。

- ☑29 7-5-2-1-4-3-6 His low salary prevents him from marrying her.
prevent ~ (from) Ving は「～がVすることを妨げる」という意味の熟語。こ
れとはほぼ同じ意味の熟語に、keep ~ from Ving がある。

- ☑30 4-1-6-2-5-3-7 It is no use arguing with Mr. Tanaka about it.
It is no use Ving は「Vしても無駄だ」という意味の重要表現。it は形式主語
で、動名詞の Ving を指していることにも注意しておこう。It is no use crying
over spilt milk. 「覆水盆に返らず」ということわざも類出。

分詞

動詞を現在分詞や過去分詞にすると、まるで形容詞のように使うことができる。それを分詞というんだ。分詞を理解するときには、現在分詞は「能動、進行」の意味があり、過去分詞には「受動、完了」の意味があるということが基本になるぞ。

1 「させる」という意味を持つ動詞

☑ The final game made me so () I could not keep sitting on the seat.

- ① excite ② excited ③ exciting ④ to excite
[東京家政大 (文・家政) <改>]

excite という動詞を「興奮する」という意味で覚えている人も多いけれど、実はこの動詞は、「興奮させる」という意味なんだ。make O C (OをCにする) のような第5文型のCの部分に () がある場合には、Oの部分を基準として「Oがするか、されるか」で考えればいい。ここでは「私は興奮させられる」という関係を見抜いて② excited を選ぶ。このように、意味を間違えやすい「～させる」という意味の動詞はまとめて正確に覚えておこう。

| | | | |
|--|-----------|--|-----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> amuse | [楽しませる] | <input checked="" type="checkbox"/> interest | [興味を持たせる] |
| <input checked="" type="checkbox"/> bore | [退屈させる] | <input checked="" type="checkbox"/> please | [喜ばせる] |
| <input checked="" type="checkbox"/> disappoint | [がっかりさせる] | <input checked="" type="checkbox"/> satisfy | [満足させる] |
| <input checked="" type="checkbox"/> excite | [興奮させる] | <input checked="" type="checkbox"/> surprise | [驚かす] |
| <input checked="" type="checkbox"/> exhaust | [疲れさせる] | <input checked="" type="checkbox"/> tire | [疲れさせる] |

解答 ② 決勝戦で私はとても興奮してしまって、席に座ったままいられなかった。

2 付帯状況の with

☑ My uncle stood with his arms () thinking about his family he had left in his hometown.

- ① folding ② fold ③ folded ④ having folded
[大阪経大 (経)]

with 目的語 分詞 の形で「～を…にして」という意味を表すことができる。この with の使い方を「付帯状況の with」といって、分詞が現在分詞か過去分詞かを決める場合には、with の後ろの名詞が「する」という能動的な意味があれば現在分詞、「される」という受動的な意味があれば過去分詞を選ぶべきなんだ。ここでは、「腕は組まれる」という受動の関係があるから、過去分詞の③ folded を選ぶ。

解答 ③ 私のおじは立って腕を組み、自分の故郷においてきた家族のことについて考えていた。

3 have ～ Vpp

☑ The poor old woman () again.

- ① got robbed her bag ② had her bag stolen
③ let her bag to be robbed ④ was stolen her bag
[センター試験 (追)]

have という動詞には、さまざまな使い方があっても、試験で最もよく問われる使い方は、have ～ V と have ～ Vpp の区別なんだ。have ～ V (～にVさせる, してもらう) のときには、目的語と原形動詞の間に「～がVする」という能動の関係が必ずある。また have ～ Vpp (～をVされる, してもらう) の場合は、目的語と過去分詞の間に必ず「～がVされる」という受動の関係が成り立つんだ。ここでは「彼女のバッグが盗まれる」という受動の関係をとらえて、have ～ Vpp の形を使った② had her bag stolen を選ぶ。

解答 ② その気の毒な老女は、またバッグを盗まれた。

● () に入るのに最も適当なものを選び

難 1 The pretty girl () alone in the corner is Mary Smith.

- ① standing ② is standing
③ stand ④ being stood

[金蘭短大]

2 The bishop () hands with the diplomat lives in Canterbury.

- ① shake ② shook ③ shaken ④ shaking

[明の星女子短大]

3 The moon () above the mountain was very beautiful.

- ① shine ② shone ③ shining ④ shines

[明の星女子短大]

4 The teacher caught the student () in class.

- ① sleep ② slept
③ sleeping ④ to sleep

[桃山学院大 (経)]

5 I saw the glasses I thought I had lost () on my bed.

- ① lie ② lay ③ laying ④ lying

[英検2級]

難 6 I find it difficult to keep the conversation ().

- ① coming ② going ③ holding ④ carrying

[英検2級]

7 At the dance party I saw Peggy () all in red.

- ① dressed ② dress ③ dressing ④ dresses

[上智短大]

1 隅に1人で立っているそのかわいい女の子はメアリー・スミスです。

基礎1 主語の the pretty girl という名詞を、分詞が後ろから修飾しているよね。「少女は立っている」という能動の関係があるから、現在分詞の ① standing を選ぶ。

2 その外交官と握手をしている司教はカンタベリーに住んでいる。

主語の the bishop を分詞が後ろから修飾している形。「司教は握手をしている」という能動の関係があるから、現在分詞の ④ shaking を選ぶ。

3 山の上で輝いていた月はとても美しかった。

主語の the moon を分詞が後ろから修飾している形。「月は輝いている」という能動の関係があるから、現在分詞の ③ shining が答え。

4 その教師は授業中眠っている生徒を見つけた。

catch ~ Ving は「～がVしているのを見つけた」という意味。「生徒が居眠りをしている」という能動の関係があるから、現在分詞の ③ sleeping が正解。

5 なくしたと思っためがねがベッドの上にあるのを見つけた。

注意 知覚動詞+目的語の後ろに、どのような形がくるのかという問題。ここでは、I thought I had lost の部分は the glasses を修飾している部分で、目的語の the glasses (めがね) が「横たわっている」という関係を正確にとらえよう。そうすると、自動詞 lie の現在分詞 ④ lying が正解。

6 私はその会話を続けることが難しいと分かっている。

「会話は続く」という能動の関係があるので、() には現在分詞が入る。「続く」という意味を持った go の現在分詞 ② going を選ぶ。

7 ダンスパーティーで、私はベギーが全身赤の装いなのを見た。

「～を着ている」という表現は、過去分詞形を使って dressed in ～ という形を使う。着用を表す in という前置詞に注意しよう。

☐8 When I mentioned her name, I noticed ().

- ① he smiling ② him smiling
③ he to smile ④ him to smile

[上智短大]

☐9 The air-conditioner makes too much noise. You ought to have it () at.

- ① look ② looking
③ looked ④ be looked

[英検準2級]

☐10 He was the only person () in that train accident.

- ① injure ② injured
③ injuring ④ being injured

[北海道大(経)]

☐11 Every guest () is certain to bring a gift.

- ① inviting ② will be invited
③ invited ④ has been invited

[南山短大]

☐12 The museum is full of important objects () by questionable means.

- ① acquiring ② acquired
③ to acquire ④ acquire

[目白学園女子短大]

☐13 She looked () when she saw her son after 2 years' absence.

- ① excite ② excited
③ exciting ④ to excite

[韓蔭女子短大]

☐8 ② 私が彼女の名前を呼んだとき、私は彼女が笑っているのに気付いた。
【注意】ここでは、notice という動詞の目的語の him と smiling の間に、「彼が笑っている」という能動的な関係があることに注目しよう。notice は知覚動詞だから、原形不定詞とれるぞ。

☐9 ③ そのエアコンは騒音がとてもひどい。あなたはそれを見てもらうべきだ。
「エアコンが見られる」という受動的な関係をとらえて、過去分詞を使おう。
have ~ Vpp は「～をVしてもらおう」という意味。

5 章

分詞

☐10 ② 彼はその電車事故でけがをした唯一の人だった。

injure という動詞は、もともと「傷つける」という意味を持つ。ここでは「人は傷つけられる」という受動的な関係があるので、② injured という過去分詞形を選ぶ。

☐11 ③ 招待された客は皆、きつと贈り物を持ってくるだろう。

主語の every guest を後ろから修飾する分詞を答えさせる問題。ここでは「客は招待される」という受動の関係があるので、過去分詞の ③ invited を選ぶ。このように、まれに1語でも後ろから修飾する場合もあるんだ。

☐12 ② その美術館は疑わしい手段によって獲得された貴重品で満たされている。

important objects という名詞を後ろから修飾する分詞を答えさせる問題。ここでは「物品は獲得される」という受動的な関係があるので、過去分詞の ② acquired を選ぶ。

☐13 ② 2年ぶりに息子に会ったとき、彼女は興奮した様子であった。

【注意】 SVC のCにくる分詞を答えさせる問題。Cに入るものを決定するときには、Sを基準にして考えること。excite という動詞は「興奮させる」という意味なので、ここでは「彼女は興奮させられる」という受動的な関係をとらえて、② excited を選ぶ。

□14 All you have to do is () for dinner tonight.

- 頻 ① get to dress ② get dressed
③ get dress ④ get dressing

[名城大 (商)]

□15 In order to keep () I try to read as much as possible.

- ① inform ② informed ③ informer ④ informs

[センター試験 (追)]

□16 I have to get this homework () by next week.

- ① do ② done ③ doing ④ be done

[金蘭短大]

□17 The waiting room was so noisy that I couldn't hear my name ().

- ① called ② calling
③ call ④ have called

[英検準2級]

□18 Kate speaks English very fast. I've never heard English () so quickly.

- ① speak ② speaking ③ spoken ④ to speak

[センター試験]

難 □19 According to the newspaper, the boy was knocked unconscious and lay on his back with ().

- ① his closed eyes
② having his eyes closed
③ closing his eyes
④ his eyes closed

[明星大 (理工・物・化)]

□14 ② あなたは今夜、夕食のために身支度をしさえすればよい。

基礎 「着飾る」という表現は, get dressed, dress oneself, または dress up を使う。ここでは ② get dressed が正解。もともとは「衣服を着せられた状態になる」という意味。ちなみに, all ~ have to do is (to) V は「～はVしさえすればよい」という意味の重要表現。

□15 ② 知識を蓄えるために、私はできるだけたくさん本を読もうとしている。

keep C は「Cのままでいる」という意味の第2文型の構文。不定詞の意味の上での主語は主文の主語だから、ここではIを基準に、「私は知らされたままである」という受動的な関係をとらえて、② informed を答えにしよう。

□16 ② 私は来週までにこの宿題を仕上げなくてはならない。

get O C は「OをCにする」という第5文型の構文。第5文型のCに()がくる場合、Oを意味上の主語と考えて問題を解くこと。ここでは「宿題は終わらせる」という受動的な関係をとらえて② done を選ぶ。

□17 ① その待合室はとてもうるさかったので、私は私の名前が呼ばれているのが聞こえなかった。

私の名前は「呼ばれる」という受動的な関係を見抜いて、ここでは過去分詞の① called を選ぶ。

□18 ③ ケイトは英語をとて速く話す。私はそんなに速く英語を話すのを聞いたことがない。

英語は「話される」という受動的な関係を見抜こう。ここでは、過去分詞の③ spoken が答えとなる。

□19 ④ その新聞によると、その少年は強く打たれて意識不明になり、目を閉じて仰向けに横たわった。

注意 付帯状況のwithの後には、名詞＋分詞の形が続くことができる。分詞が現在分詞か過去分詞かを決めるときは、名詞を基準にして「する」のか「される」のかを考えてみる。ここでは「彼の目が閉じられている」という受動的な関係があるよね。

- 20 Some people leave their cars with the engines () when they go shopping for a few minutes.

① run ② to run ③ ran ④ running

[英検準2級]

- 21 When you were in Canada, could you make yourself () in English?

① to understand ② understand
③ understanding ④ understood

[桜美林短大]

- 次の2つの英文が同じ意味になるように()に適語を入れよ

- 22 1 : Did you notice a girl who was wearing a white dress ?

2 : Did you notice a girl () () white dress ?

[東横学園女子短大]

- 次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ

- 23 The mother soothed the ① disappointing child and then

② promised to take him ③ on a picnic as soon as it
④ stopped raining.

[上智短大]

- 24 Many buses in Japan have ① special seats ② marking "silver seats" for the elderly or ③ physically

④ handicapped persons.

[南山短大]

- 20 ④ 数分間買い物に行くとき、エンジンをかけっぱなしで車を離れる人がいる。付帯状況の with の構文では、with の後ろの名詞を基準に能動か受動かを見て、後に続くのが現在分詞か過去分詞かを決めるんだ。ここでは「エンジンがかかっている」という能動の関係を見抜いて、④ running を選ぶ。

- 21 ④ カナダにいたとき、あなたの英語は通じましたか。

oneself という言葉には「自分の意図」という意味がある。ここでは「自分の意図が理解される」という受動の関係をとりえて、④ understood を選ぶ。make oneself understood は「言いたいことを理解してもらう」という表現として、しっかりと暗記しておくこと。

- 22 wearing [in, with], a あなたは白いドレスを着た少女に気付いたのだろうか。現在分詞や過去分詞は、形容詞の働きをして直前にくる名詞を修飾することができる。ここでは、who was を使わずに wearing という分詞が直前の a girl を修飾していると考えてみよう。

- 23 ① disappointing — disappointed 母はがっかりしている子供をなだめ、雨がやんだらすぐにピクニックに行つてあげると約束した。

⚠️disappoint という動詞は「がっかりさせる」という意味。ここでは「子供はがっかりさせられる」という受動の関係をとりえて、disappointing を disappointed に訂正しよう。

- 24 ② marking — marked 日本ではたきさんのバスに、「シルバーシート」と示された、老人や身体的に障害のある人のための特別席がある。

⚠️「特別席は印を付けられている」という受動の関係をとりえ、② marking を marked に訂正しなければならないと分かる。

- ☑25 Tom's decayed teeth ① were troubling him, so he went to a dental surgeon ② to see about having ③ them ④ pull.

[長崎大]

●次の日本語の意味を表す英文になるように、() 内の語を並べかえよ

- ☑26 私は帰宅の途中、電車の中で時計を盗まれた。(1語不要)
 (1. watch 2. steal 3. I 4. stolen 5. my 6. had)
 in the train on my way home.

[田中千代学園短大]

- ☑27 海外旅行に参加を希望する学生は自由に参加してください。
 Students (1. are 2. in 3. abroad 4. participate 5. to
 6. travel 7. wishing) free to do so.

[鎌谷大 (文)]

- ☑28 面接で、彼女はヘミングウェイによって書かれた小説を何冊か読んだと答えた。(1語不要)
 At the interview, she answered that (1. which 2. novels
 3. she 4. read 5. Hemingway 6. had 7. by 8. some
 9. written).

[金剛短大]

- ☑29 これらの道具は雨の中におきっぱなしにされている。
 These tools (1. been 2. lying 3. have 4. in 5. left)
 the rain.

[四天王寺国際仏教大 (文)]

- ☑30 道路にはほとんど雪が残っていないかった。(1語補足)
 (1. road 2. left 3. the 4. there 5. snow 6. was 7. on).

[聖学院大]

- ☑25 ④ pull — pulled トムは虫歯に苦しんでいたので、歯を抜いてもらうために歯医者に行った。

have + 目的語の後ろにくるものが、原形不定詞になるか過去分詞になるかは、目的語が「する」のか「される」のかで考えること。ここでは「歯が抜かれる」という受動的な関係をとらえて ④ pull を pulled に訂正しよう。また、see about Ving は「Vするようとり計らう」という意味の熟語。

- ☑26 3-6-5-1-4 I had my watch stolen in the train on my way home.
 基礎! ここでは have ~ Vpp (～をVされる) の形にあてはめて並べ換えるとい
 いね。「時計が盗まれる」という受動の関係を正確に見抜くことが大切。

- ☑27 7-5-4-2-6-3-1 Students wishing to participate in travel abroad
 are free to do so.

主語の students を wishing という分詞が後ろから修飾し、その後で動詞の are が
 出てくることに注意して並べ換えることが大切。また、participate in ～ (～に
 参加する), be free to V (自由にVする) という熟語にも注意しよう。

- ☑28 3-6-4-8-2-9-7-5 At the interview, she answered that she had
 read some novels written by Hemingway.

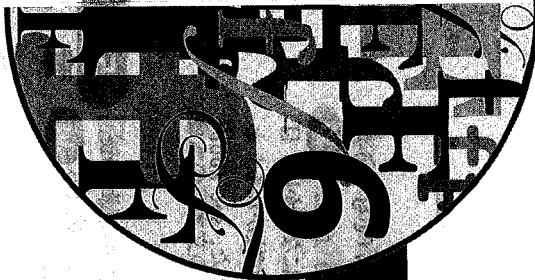
some novels という名詞を、後ろから written という分詞が修飾している。「小説
 は書かれる」という受動的な関係があるから、ここでは過去分詞の written が使わ
 れているんだ。

- ☑29 3-1-5-2-4 These tools have been left lying in the rain.

注意! leave O C (OをCのままにしておく) の受動態, O be left C の形にあて
 はめてみる。「道具が横たわっている」という能動の関係を見抜こう。

- ☑30 4-6-X-5-2-7-3-1 There was little snow left on the road.

snow という名詞を left という過去分詞が後ろから修飾している。on the road の
 ように修飾語句が続いて2語以上になる場合には、原則的に分詞は後ろから名詞
 を修飾することに注意しよう。



分詞構文

動詞を現在分詞や過去分詞に換えて文頭、文中、文末に置き、「～するので、～するとき」のようなさまざまな意味で副詞的に使う用法のことを、分詞構文というんだ。ここでは、その分詞構文の基本的な使い方をまず押さえてしまおう。

1 分詞構文の基本形

☑ () in a very difficult situation, the doctor never had any rest.

- ① Work ② Working ③ Worked ④ To work
[センター試験 (追)]

これは最も基本的な分詞構文の形だ。分詞構文の主語にあたるのは主文の主語の the doctor で、主文の時制と分詞構文の時制は同じ。このようなときには、最も基本的な分詞構文の② Working を選ぶ。

解答 ② ひどく困難な状況で働いていたため、その医者は全く休むことができなかった。

2 受動分詞構文

☑ () from a distance, the mountain looks like a dog's head.

- ① Seen ② Seeing ③ See ④ Saw
[英検準2級]

主文の主語の the mountain は、見る方ではなく見られる方だね。このように主文の主語が「される」という受動の関係がある場合には、過去分詞の分詞構文(受動分詞構文)を使うんだ。分詞構文が現在分詞になるか過去分詞になるかは、主文の主語を基準に判断しよう。

解答 ① 遠くから見ると、その山は犬の頭のように見える。

3 独立分詞構文

☑ All things (), he did unusually well.

- ① being considering ② considered
③ considering ④ were considered
[明治学院大 (経一様)]

ここでは、主文の主語と分詞構文の主語が違うので、分詞構文の前にはその主語となる All things が置かれている。このような場合は分詞構文の主語を基準にして、「する」という能動の意味だったら現在分詞、「される」という受動の意味だったら過去分詞というふうを選んでいこう。ここでは「全ての物事は考慮される」という関係を見抜いて、過去分詞形の② considered が答え。

all things considered のように、熟語化した分詞構文はまとめて覚えておく と便利だ。また熟語化した分詞構文の中には、本来あった主語の we, they が省略されて、主文と主語が一致しないようなものもあるので、問題を解くときには熟語だと割り切って解答すること。

☑ all things considered [全てを考慮に入れると] all things considered = all things taken into consideration[考慮し、検討を要する] [厳密にいうと]

☑ frankly speaking [率直にいうと]

☑ generally speaking [一般的にいうと]

☑ talking[speaking] of [～といえは]

☑ weather permitting [天気がよければ]

☑ judging from [～から判断すると]

解答 ② 全てのことを考慮に入れると、彼はとてもよくやっていた。

● () に入るのに最も適当なものを選び

□ 1 (), the workers knew it was time to start working.

- ① Hearing the bell ② Heard the bell
③ To hear the bell
④ To have been heard the bell

[東京成徳短大]

□ 2 () at the station, I found the train had already started.

- ① To arrive ② Arriving ③ Arrived ④ Arrive

[田中千代学園短大]

□ 3 (), David jumped into the river and saved the drowning child.

- ① Good swimmer as he is
② He could swim very well
③ He was a good swimmer
④ Being a good swimmer

[東横学園女子短大]

□ 4 () near the station, the hotel is very convenient.

- ① To be located ② Located
③ Locating ④ To be locating

[上智短大]

□ 5 () the river, we put up a tent for the night.

- ① Reach ② Reached ③ Reaching ④ To reach

[東京家政大(文)]

□ 6 Sam had to stay in France on business for three months, () his wife in Japan.

- ① leaves ② left
③ leaving ④ to be left

[英検準2級]

□ 1 ① その鐘を聞いて、労働者たちは仕事が始まる時間だということを知った。

ベルを聞いたのも労働者が知ったのも同じ時制だ。また、「労働者は聞く」という能動の関係があるから、一番基本的な分詞構文 ① Hearing the bell を選ぶ。

□ 2 ② 駅に着いたとき、私はその電車がすでに発車していたことが分かった。

基礎 私が気付いたのも、駅に到着したのもほぼ同じ時制だ。また、「私は到着する」という能動の関係があるから、ここでは最も基本的な分詞構文 ② Arriving を選ぶべきだね。

□ 3 ④ 泳ぎが上手だったので、デイビッドはその川に飛び込み溺れかけた子供を助けた。

デイビッドが川に飛び込んだのも、泳ぎが上手だったのも同じ時制だ。また「デイビッドは泳ぎが上手」という能動の関係をとらえると、答えは ④ Being a good swimmer という最も基本的な分詞構文だと分かる。また、接続詞なしで文と文をつなぐことはできないので、②③が不可になることにも注意しよう。

□ 4 ② 駅の近くに位置しているの、そのホテルはとても便利だ。

基礎 locate という動詞は、「(建物などを)置く」という意味だ。ここでは主文の主語であるホテルが「駅の近くに置かれる」という受動的な意味をとらえて、② Located を選ぶ。

□ 5 ③ 川に到着した後、私たちはテントを張って夜に備えた。

テントを張ったのも川に到着したのもほぼ同じ時制だね。「私たちが川に着く」という能動の関係をとらえて ③ Reaching を選ぶ。

□ 6 ③ サムは彼の妻を日本に残したまま、仕事で3ヶ月間フランスに滞在しなければならなかった。

これは「そして……する」という意味を持った、結果の意味の分詞構文。この意味の分詞構文は文末につく。③ leaving が正解だ。

▽7 () where to go, I stayed at home all day long.

- ① Don't know ② Not knowing
③ Unknowing ④ No knowing

[京都外国語短大]

▽8 () in easy English, this paperback would be very good for you.

- ① Written ② Write ③ Writing ④ To write

[上智短大]

▽9 (), you'll see the college.

- ① If you turn for the left of that corner
② You turning the left in that corner
③ Turning to left on that corner
④ Turning left at that corner

[関西外国語短大]

▽10 Masao, () at the news of the earthquake, couldn't utter a word.

- ① shock ② shocking
③ shocked ④ having shocked

[山陽学園短大]

▽11 () from a distance, the cactuses look like human beings.

- ① Seen ② Seeing
③ To see ④ Having seen

[南山短大]

▽12 () the fire, the firemen urged the crowd to leave; accordingly, they returned to their homes.

- ① For putting out ② Having put out
③ Being put out ④ Having been put out

[明星大(理工-物・化)]

▽7 ② どこに行けばよいのか分からなかったのです、私は1日中家にいました。

注意 分詞構文を否定にする場合には、直前に否定語の not など置くんだ。ここでは ② Not knowing が正解。

▽8 ① 簡単な英語で書かれているので、この文庫本はあなたにとってもよいだろう。分詞構文が Ving か Vpp かは、主文の主語が「する」のか「される」のかで見抜くことができるんだ。ここでは、「paperback は書かれる」という受動的な意味をとらえて、① Written が正解だ。

▽9 ④ あの角を左に曲がれば、あなたはその大学が見えるだろう。

注意 「左に曲がる」は、turn left もしくは turn to the left と表現する。ここでは、あなたが見るのも曲がるのもほぼ同じ時制だ。「あなたが曲がる」という能動的な意味をとらえて、最も基本的な分詞構文 ④ Turning left at that corner を選ぶ。

▽10 ③ 地震の知らせに衝撃を受けたマサオは言葉を発することができなかった。shock という動詞は、「ショックを与える」という意味だ。ここでは主文の主語のマサオが「ショックを与えられた」という受動の関係を正確にとらえて、過去分詞の ③ shocked を選ぶ。

▽11 ① 遠くから見るとそのサボテンは人間のように見える。

主文の主語のサボテンが「見られる」という受動の関係を正確にとらえて、過去分詞の ① Seen を選ぶ。

▽12 ② 火を消してしまったので、消防隊員はやじうまに帰るように言った。したがって彼らは家へ帰っていった。

「消防隊員がやじうまに帰るように言った」のより、「火を消した」のは前のことだよね。こんなふうに主文の時制よりも前のことをいう分詞構文は、having Vpp という形になるんだ。ここでは ② Having put out が正解だ。④ は受動態なので不可だね。

□13 () well the night before, I felt much better.

- ① Sleeping ② To sleep
③ To have slept ④ Having slept

[金城学院大短大部]

□14 Having been asked to give a speech at the wedding reception, ().

- ① Mr. Saito prepared for some notes
② some notes were prepared by Mr. Saito
③ Mr. Saito prepared some notes
④ some notes were prepared for Mr. Saito

[松蔭女学院大]

□15 (), the simplest explanation is the best.

- ① Being other things equal
② Being equal to other things
③ Other things being equal
④ Other things equal being

[聖学院大 (政経)]

□16 All things (), she was very lucky in the accident.

- ① consider ② considered
③ considering ④ to consider

[梅花女子大 (文)]

□17 Strictly (), this is wrong.

- ① spoken ② to speak
③ speaking ④ spoke

[明の星女子短大]

□18 () his age, Mr. President looks pretty young.

- ① Consider ② Considered
③ Having considered ④ Considering

[東京電機大 (工一情報通信)]

□13 ④ 前の夜よく寝ていたの、私はずっと気分がよかった。

単語 「私の気分がいい」のよりも、「前の夜よく寝た」のは時制が前のことだね。だからここでは、前の時制を表す分詞構文 having Vpp を使った ④ Having slept を選ぼう。

□14 ③ 結婚披露宴のスピーチを頼まれていたので、斉藤さんはいくつかの原稿を用意した。

注意 分詞構文の主語は、主文の主語と同じでなければならない。だからスピーチをしてくれと頼まれたのは、当然覚え書きではなくて斉藤さんだ。斉藤さんが主語になっている選択肢を選ばなければならないので、③ Mr. Saito prepared some notes が正解だ。①の prepared for ~ は「~に備えて準備をした」という意味になるので不可だね。

□15 ③ 他のものが同じであれば、最もシンプルな説明が一番よい。

分詞構文の主語が主文の主語と違う場合には、その主語を分詞構文の直前に置いて表すんだ。ここでは、③ Other things being equal が正解だ。Other things が分詞構文の意味上の主語となっている。

□16 ② 全てのことを考慮に入れば、彼女は事故のときとても幸運だった。

分詞構文の主語にあたる全ての物事は「考慮される」方だから、受動の意味を持った ② considered を選ぼう。「全てのことを考慮に入れば」という日本語の表現に惑わされないように注意したい。

□17 ③ 厳密に言えば、これは間違っている。

strictly speaking は「厳密に言えば」という意味。このような熟語では、主語や時制の一致に関しては考える必要はないのだ。

□18 ④ 年齢の割には、大統領はかなり若く見える。

considering ~ は「~を考慮すれば」という意味。このような熟語では、主語や時制の一致に関しては、考える必要はないのだ。

▽19 () Shakespeare, have you ever visited Stratford-upon-Avon?

- ① Speak of ② Speaking of
③ To speak of ④ Spoken of

[上智短大]

▽20 () being no bus service in the town, they had to use a taxi.

- ① There ② Having ③ With ④ Because

[同奈社大 (神・法)]

●次の2つの英文が同じ意味になるように () に適語を入れよ

▽21 1 : I gave her some money because I couldn't help in any other way.

- 2 : () unable to help in any other way, I gave her some money.

[小樽女子短大]

▽22 1 : As she had been ill, she took it easy for a few days.
2 : () ill, she took it easy for a few days.

[仙台百合短大]

●次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

▽23 ① Realized that he ② had left his gloves, he ③ returned to the theater ④ for them.

[山脇学園短大]

▽24 ① Writing in simple English, this book is ② suitable ③ for ④ beginners.

[福岡大 (工・薬) <改>]

▽19 ② シェークスピアといえば、ストラットフォード・upon・エイヴォンを訪ねたことがありますか。

「～といえど」という意味を表現するには、**speaking of** ～または **talking of** ～という熟語を使うんだ。これらの熟語表現では、主語や時制を一致させる必要はない。ここでは ② Speaking of を選ぼう。

▽20 ① その町にはバス便がなかったのだ、彼らはタクシーを使わなくてはならなかった。

There 構文を分詞構文にすると、There being ～ (～があるので) という形になる。これを否定にすると There being no ～ (～がないので) という形になるんだ。

▽21 Being 私は他の方法で彼女を助けることができなかったのだ、いくらからお金を彼女に与えた。

● **be unable to V** は「Vすることができない」という意味の熟語。ここでは接続詞がなく、カンマだけで後ろの文と接続するので分詞構文を使う。時制も主語も同じなので基本的な分詞構文を使って Being を補充する。

▽22 Having, been 彼女は病気だったので2, 3日の間のんびりした。

● **注意** 彼女がのんびりしたのよりも、病気だったのは前の時制だよね。ここでは前の時制のことを表す分詞構文 having Vpp を使って、Having been が答え。

▽23 ① Realized — Realizing 手袋を忘れたことに気が付いて、彼はそのために劇場に戻った。

「彼は手袋を忘れたと認識する」という能動的な関係があるので、受動的意味を持った過去分詞形の分詞構文は使うことはできないよね。ここでは Realized を Realizing に訂正しよう。

▽24 ① Writing — Written 単純な英語で書かれているので、この本は初心者に向いている。

● **注意** 主文の this book は「書かれる」方だから、受動分詞構文を使って、Writing を Written に訂正しよう。

[同志社大(文)]

[白百合女子大(英文)]

[松阪大(政経)]

[四天王寺國際仏教大]

[田中千代学園短大]

[摂南大(工)]

6 章 分詞構文

Stage 2

4章～6章

中間チェック

目標時間
20分

目標得点
17/20

1 () 内に入るのに最も適当なものを選ぶ

- (1) There are many books worth ().
 ① reading ② to read
 ③ to be read ④ for reading
- (2) "What's your favorite sport?" " ()."
 ① Playing ski ② Ski
 ③ Skiing ④ To ski
- (3) She must have forgotten about () her to come to the meeting.
 ① we had asked ② us to ask
 ③ us to have asked ④ our asking
- (4) I am used to () up late, reading interesting books.
 ① sit ② sitting ③ sat ④ being sat
- (5) She was responsible for looking after the little girl () blouse.
 ① and wearing long-sleeved
 ② wearing a long-sleeved
 ③ worn long-sleeved
 ④ who wearing a long-sleeved
- (6) Bob was reading a novel with all the windows ().
 ① having closed ② closed
 ③ closing ④ to close

(7) A : Hey, Bob. Where do you have your car () ?

B : At the car wash next to the shopping mall.

They do a great job.

- ① wash ② be washed
 ③ washed ④ washing

(8) We stopped for a moment and watched them () the new hospital.

- ① building ② built
 ③ having built ④ to build

(9) I found my dog () under the tree in our yard.

- ① lay ② laying ③ lie ④ lying
 (10) () up, I saw a swan flying right over my head.

- ① Looking ② To look
 ③ Looked ④ Being looked

(11) There () no bus service at that time of the day, we had to walk all the way to the station.

- ① being ② was ③ had ④ having
 (12) () from the moon, the earth might look like a ball.

- ① Seeing ② To see
 ③ Seen ④ Having seen

(13) I will come, ().

- ① weather is permitting
 ② weather will be permitting
 ③ weather permitting
 ④ weather permits

(14) () all her work an hour ahead of time, she decided to go to the movies early.

- ① In order to finish ② If she finished
 ③ When she finishes ④ Having finished

2 次の2つの英文が同じ意味になるように () に適語を入れよ

1 : Mary did all her shopping. Then she went for a cup of coffee.

2 : () () all her shopping, () went for a cup of coffee.

3 次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ

(1) I am ① looking ② forward to ③ see ④ you soon.

(2) ① Situating ② on a hill, his house ③ commands ④ the finest view that I have ⑤ ever seen.

4 次の日本文の意味を表す英文になるように、() 内の語を並べかえよ

(1) 彼女はコンピュータの扱いに手こずった。

(1. computer 2. difficulty 3. had 4. in 5. operating 6. she 7. the).

(2) 外国に行ってみれば、外国語を話せないことが、いかに不便かがよく分かります。

When you go abroad, you will realize how inconvenient it is (1. understood 2. able to 3. not to be 4. make yourself) in a foreign language.

(3) 本は他のものに比べると安いものだ。(1語不要)

(1. cheaper 2. commodities 3. books 4. are 5. other 6. with 7. another 8. compared).

| | | | | |
|----------|---------------|------|------|--|
| 1 | (1) | (2) | (3) | |
| | (4) | (5) | (6) | |
| | (7) | (8) | (9) | |
| | (10) | (11) | (12) | |
| | (13) | (14) | | |
| | | | | |
| 2 | (), (), () | | | |
| 3 | (1) | | (2) | |
| 4 | (1) | | (2) | |
| | (3) | | | |

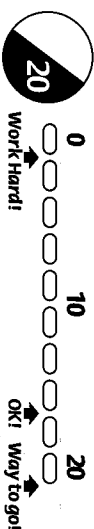
Stage 2

4章～6章

中間チエツク 解答編

二 解説

| | | | | | | |
|---|--|------------------------|------|------------------|------|------------|
| | (1) | ① 4章・16,25 | (2) | ③ 4章・24 | (3) | ④ 4章・11 |
| | (4) | ② 4章・13 | (5) | ② 5章・1 | (6) | ② 5章・19 |
| 1 | (7) | ③ 5章・9 | (8) | ① 5章・5 | (9) | ④ 5章・8 |
| | (10) | ① 6章・1 | (11) | ① 6章・20 | (12) | ③ 6章・11 |
| | (13) | ③ 9,15,16 6章・ | (14) | ④ 6章・12,13 | | |
| 2 | (Having), (done), (Mary) 6章・12,13 | | | | | |
| 3 | (1) | ③ 4章・14 | (2) | ① 6章・8,24 | | |
| | (1) | 6-3-2-4-5-7-1 4章・18 | (2) | 3-2-4-1 5章・21 | | |
| 4 | (3) | 3-4-1-8-6-5-2 6章・25 | | | | |



二 解説

- 1 (1) be worth Ving 「Vする価値がある」 ◆(2) スキーは英語で skiing. ◆
(3) 動名詞の意味上の主語は、Ving の前に所有格をつける。◆(4) be used to Ving 「Vすることに慣れている」 ◆(5) wearing という現在分詞が girl を修飾している。◆(6) with ～ Vpp[Ving・形容詞・前置詞＋名詞]で「～を……の状態にして」 ◆(7) have ～ Vpp 「①～をVされる, ②～をVしてもらう (依頼)」 ◆(8) 知覚動詞 ～ Ving[Vpp] 「～がVしている [されている] のを見る・聞く・感じる」 ◆(9) find ～ Ving[Vpp] 「～がVして

いる [されている] のを見つける」。 () の後ろは副詞で目的語をとらないので、自動詞の分詞を選ぶ。◆(10) 受動分詞構文の形にすると意味が通じないので④は×。◆(11) There being no 「～がないので」は頻出。◆(12) the earth は物でされる側なので受動分詞構文。◆(13) weather permitting 「天気がよければ」 ◆(14) 分詞構文で主節と従属節の間に時制のズレが生じている場合は having Vpp の形で表す。

2 分詞構文で主節と従属節の間に時制のズレが生じている場合は、having Vpp の形で表す。

3 (1) look forward to Ving 「Vするのを楽しみに待つ」 ◆(2) his house は物でされる側なので受動分詞 Sited にする。situate は「位置させる」という動詞。

4 (1) 「She had difficulty in operating the computer.」 have difficulty (in) Ving 「Vするのに手こずる」 ◆(2) 「When you go abroad, you will realize how inconvenient it is not to be able to make yourself understood in a foreign language.」 be able to V 「Vできる」を否定にしている。◆(3) 「Books are cheaper compared with other commodities.」 分詞構文の問題。compared with 「～と比べると」。another の後ろに複数形はこないの other を使う。

アドバイス

Ving 形の働きを見抜くことは長文読解でも重要だ。まず、文中で使われている Ving 形が動名詞なのか、分詞なのか、分詞構文なのかを見抜いて、問題を解いていこう。目標得点は 17 問以上。

12 問以下の人は、基礎事項がまだまだ！ 動名詞、分詞、分詞構文とは「何か」という理解が少し甘いかも。13 問～16 問の人はもう少し勉強が必要。動名詞や分詞などの大まかな区別は分かっているけれど、能動・受動の理解や、意味の上での主語の見抜き方など、細かい点も極めよう。17 問以上の人は、このレベルの理解は大丈夫だけれど、間違った問題を完全に復習しておくこと。次回は満点を狙おう！